県政報告
令和8年 秋
No.14

長野県議会議員 丸山としこ

丸山としこ 公式サイト
〒399-0702
塩尻市広丘野村1722-9
グランドヴィレッジ203
TEL/FAX 0263-31-6474
https://toshiko.org/

一般質問 長野県議会9月定例会 民泊のゼロ日規制／身寄りのない高齢者等への支援



民泊のゼロ日規制導入

【丸山】 今年7月、観光庁等から地方公共団体に対し、住宅宿泊事業法に規定する届出住宅について、条例によりゼロ日規制を行うことも可能である旨の通知が発出された。県内においても、観光客の増加に伴い住環境への影響を懸念する声があるが、本通知を受け、県は民泊の実態や住民への影響をどのように把握し、今後の規制の在り方を検討していくのか。また、新宿区ではゼロ日規制の導入を進める方針であるが、県としてゼロ日規制を含めた条例改正の必要性をどのように考えているのか伺う。

【阿部知事】 ゼロ日規制を含む民泊の規制強化については、昨年度、軽井沢町及び白馬村から寄せられた要望を踏まえ、県から観光庁に対し、ゼロ日規制の容認を含む自治体の裁量拡大を要望してきた。

今回の通知は、こうした地域の声に沿ったものと受け止めている。一方、国の通知においては、ICTを用いた管理の義務付けなど、長野県から要望したゼロ日規制以外のものも含まれている。今後、通知内容を具体化した住宅宿泊事業法施行要領（ガイドライン）により、これらの規制に関する条例運用上の考え方がさらに明確化されるものと考えている。

県としては改めて県内の住宅宿泊事業を含む、宿泊施設の状況や苦情の発生状況、市町村の意向、地域住民への影響などを整理分析し、国のガイドラインを確認した上でゼロ日規制のあり方と条例改正について、検討していきたい。



なお、ゼロ日規制の適用は住環境の保全に有効な手段となりうる一方、適正に事業を営む事業者や観光振興への影響も考えられることから、適用にあたっては、市町村において地域の合意形成を丁寧に行うことが必要と考えている。

ゼロ日規制とは

観光庁は、民泊の営業日数を年間180日と規定しているが、実質的に禁止できる「ゼロ日規制」を通知した。閑静な住宅街等の生活環境を守るため自治体の条例で制限可能になった。騒音計等ICT機器の設置等の義務も認めている。
（2026年7月15日）

身寄りのない高齢者等への新たな支援制度

【丸山】 身寄りのない高齢者等の増加が全国的な課題となっているが県内の状況はどうか。また、社会福祉法等改正による「身寄りのない高齢者等への新たな支援制度」の段階的施行が令和9年4月から予定されている。地域により格差が生じないよう、支援や環境整備について県の取組を伺う。

【清水健康福祉部長】 令和7年の国勢調査において、県内の高齢単身世帯は11万世帯となっている。国立社会保障・人口問題研究所が令和6年に行った推計では、2040年には、約15万世帯になる見込み。

これまで行っていた「日常生活支援」に加え、「入院・入所等の手続支援」や「死後事務支援」が第二種社会福祉事業として法律上で位置付けられ、身寄りのない高齢者等がサービスを利用しやすい環境となる。県では、制度開始を見据え、来年度から、市町村や社協、地域包括支援センター、医療・介護関係者などと連携し、関係機関の役割分担や連携構築を進める。実施主体で事務を担う職員に対する研修や困難事例の助言を行い、サービスの均一化につなげ、関係機関等との情報共有を図っていく。



森林資源の活用／森林セラピーや木育の推進

森林セラピー基地・ロードの整備及び人材育成

【丸山】 県内には、全国最多の森林セラピー基地・ロードが認定されている。県内外からより多くの方が訪れているが、現在の取組や指導者の育成状況及び今後の方針について伺う。

【千代林務部長】 森林づくり県民税を活用して、森林セラピー基地を中心に、健康、観光、教育等多様な分野で森林空間を活用する取組を支援。セラピー基地を含む17箇所のフィールドを整備。森林セラピー等の講師を担うガイド人材や、プログラムをコーディネートする人材を延べ580人育成した。加えて、多くの県民が気軽に親しめるよう「開かれた里山」と位置づけ、関係者とともにウォーキングコース整備や資機材の導入等、39の地域で特色を生かした取組を支援してきた。



森林環境を整えることは、地域の活性化のみならず、クマなどの野生生物との適切な棲み分けができ、持続的な森林の利活用につながると考え、今後も、人材育成や環境整備等の取組を進めていく。



県産材を活用した木育の推進

【丸山】 県内市町村における木育の取組を推進するため、県ではどのような支援を行っているか。県産材を活用した積み木等、木製玩具の普及拡大への状況はどうか。

【千代林務部長】 本年度は15市町村において、森林環境譲与税等を活用し、県産材の積み木を用いたワークショップや森林環境教育など、地域の実情に応じ独自の木育活動が展開されている。

木育の取組が、森林や林業への理解を深め、県産材を利用する意識の醸成につながるよう、市町村や学校及び森林・林業関係者等と連携しながら、小学校で行われる木育活動へ林業普及指導員を講師として派遣するほか、森林環境教育に活用するフィールドの整備や資機材購入支援を行っている。

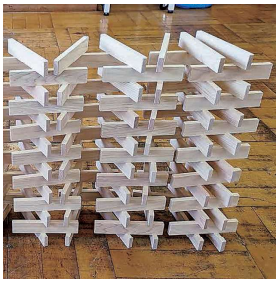
県では、平成20年度から平成29年度まで、森林づくり県民税を活用した木育推進事業を実施。木製玩具の導入、森林環境教育や木工体験など、幅広い取組が県内各地で進展してきている。

県としては、市町村における先進的な取組の横展開や、県産材を活用した製品等をホームページで情報発信するなど、県産材を活用した木製玩具の普及拡大に努め、一層の利活用につなげていく。

教育現場での木育

【丸山】 子どもの豊かな感性や創造力を育むため、義務教育段階から木工体験などの木育推進が重要と考えるが、小・中学校における取組状況はどうか。

【武田教育長】 県内には学校林を所有する小学校が83校、中学校では29校あり、学校林を活用した学習を通じて森林の役割や大切さについて学んでおり、間伐材を活用してベンチ等の木工製作に取り組む学校もある。学校林を持たない学校についても、地元の伝統工芸の漆塗りと販売体験の学習を展開している学校や、木工クラフト体験などの活動に取り組む学校もあり、豊かな森林資源を教材とした木育の取組が行われている。



活動記録 [2026年7～9月抜粋]

主催者、地区役員や県民の皆様と懇談し、ご意見を伺いました

7/8(水)	駐日インド大使館「長野Day」(インドと長野県双方の経済・産業のプレゼン)
7/11(土)	映画「普通に死ぬ」を視聴(重度障害児者を地域で支える)
7/12(日)	信州ハンドクラフトフェスタ2026(長野市エムウェーブ)
7/17(金)	松本空港現地視察(総務企画警察委員会)に地元議員として参加
7/19(日)	ウイングロードコンサート(ヴァイオリン&ピアノ)商店街賑わい創出
7/25(土)	塩尻市民祭　玄蕃祭り
7/26(日)	片丘南内田小学生マスつかみ大会(青少年育成)
7/27(月)	塩尻地区行政連絡会議(塩尻市内県機関)
7/28(火)	国スポ・全障スポ実行委員会総会(長野市)
7/31(金)	長野県企業局春近発電所 竣工式典(伊那市)
8/1(土)	片丘しののめカフェ(ニュースポーツ振興／ボッチャ・モルック)
8/5(水)	2026地方空港サミットin松本
8/7(金)	塩尻山賊焼きサミット(8/7～11)
8/12(水)	中信地区(県・市町村議員)研修会
8/14(金)	第49回短歌の里広丘夏まつり 片丘北熊井夏祭り／片丘南内田夏祭り(伝統芸能ささら踊り)
8/19(水)	中央東線高速促進・定時性確保広域期成同盟会(松本市)
8/21(金)	長野県150周年記念祭典(松本市)
8/22(土)	第56回小坂田公園納涼花火大会(塩尻市)
8/23(日)	塩嶺福祉施設「特養えんれい夏祭り」(塩尻市)
8/28(金)	塩尻市男女共同参画のワーキンググループ会議(研修企画)
9/5(土)	木育フェスティバルin塩尻／講談「はだしのゲン」平和活動(松本市)
9/7(月)	片丘小学校伝統芸能ささら踊り(講習日:9/7, 9/14, 9/25, 9/28)
9/9(水)	長野県南安曇農業高校 現地視察(環境文教委員会)に地元議員として参加
9/11(金)	まつもと広域ものづくり産業フェア(松本市) 松塩水道用水 管理事務所現地視察(決算特別委員会)に地元議員として参加
9/13(日)	片丘北熊井敬老会
9/17(木)	松塩筑地区教育関係七団体連絡協議会陳情(県庁)
9/19(土)	赤沢自然休養林視察(森林セラピー事業・里山整備)
9/22(火)	塩尻市柔道大会
9/26(土)	松本平広域公園陸上競技場 竣工式(松本市)
9/27(日)	広丘原新田地区防災運動会／塩尻市社会福祉大会

丸山としこ 県政報告会 2026

『誰もが住みやすい、魅力ある長野県を目指して』

4年間の活動報告と今後への思い

日時 / 11月15日(日) 15時～16時
(受付14:30から)

場所 / 中信会館　ベルヴィホール
(塩尻市大門一番町)

参加無料 (キッズコーナーあり)

主催 / 改革信州　丸山としこ事務所

扉を開けて



■産業観光企業委員会で質問をしました。今年8月に日本の固有品種「竜眼」が国際ブドウ・ワイン機構(OIV)のブドウ品種リストに登録され、その経過と今後の取組について質問し、竜眼のワインは日本料理とも相性が良い白ワインであり、長野県の食材と共にしっかりPRすることを要望しました。

■県議として4年目になり、この間、定例会では毎回一般質問に立たせていただきました。「丸山としこ県政報告会2026」では4年間の活動報告と、『誰もが住みやすい、魅力ある長野県を目指して』今後への思いをお伝えします。皆様のご来場をお待ちしております。キッズコーナーも設けますので、お子様連れのご参加もお待ちしております。

■ 会派改革信州 県内視察及び県民対話集会 (佐久)

7月6–7日

①桜井地区治水まちづくり(車中より説明)

②さくまんが舎
※「北斗の拳」原作者・武論尊氏のプロとして通用する知識や技能を無料で学べる「100時間漫画塾」の開講について

③佐久総合病院本院
※「農民とともに」を理念として掲げ日本の農村医療のパイオニアとして発展してきた概要及び現代医療の課題について

④樫山工業(株)
※真空機器事業としてドライ真空ポンプで国内トップクラス/スキー環境事業としては国内初のスノーマシンの開発/ワイン事業/働きやすい職場環境

⑤水産試験場佐久支場
※千曲川を利用したシナノユキマス、フナ、ウグイの種苗生産

⑥長野県立武道館(スポーツ・多目的アリーナ)
※県産材活用のユニバーサルデザイン施設







■ 会派改革信州 県外視察 (三重県、静岡県)

7月13–15日

①三重県庁

②静岡県庁
※南海トラフ地震に備えた県の計画について等

③浜松市防災学習センター

④静岡県地震防災センター
※災害時の避難行動について具体的な例の展示/地震の模擬体験/災害時の自助共助の取組について



■ 改革信州 政調会

7月15日

ウィルあいち(愛知県女性総合センター)
※愛知県の男女共同参画の啓発の取組
(愛知国際映画祭/ジェンダー視点の講演会やコンサート等/団体や個人の活動拠点、交流・発表の場としての活用)



■ 産業観光企業委員会 現地調査(中南信)

8月25–26日

①塩尻市商工観光部先端産業振興室
(一財)塩尻市振興公社　core塩尻・KADO
※地域DXやデジタル人材の育成を通じた産業振興について

②(一財)塩尻・木曽地域地場産業振興センター、木曽漆器工業協同組合、木曽くらしの工芸館(道の駅木曽ならかわ)
※木曽漆器を中心とする伝統地場産業の振興について

③上松技術専門校(上松町)
※概況説明(木曽地域振興局・上松技術専門校)及び施設見学

④(公財)南信州・飯田産業センター(飯田市)
※南信州地域における航空・宇宙機器産業振興への取組について

⑤(株)乾光精機製作所(高森町)
※精密加工技術を強みとする経営戦略、半導体分野への展開について

⑥(一社)富士見パノラマリゾート(富士見町)
※グリーンシーズンを含めた通年型観光誘客について





11月定例会日程(予定)

- 11月26日　開会
- 12月1日～12月4日　一般質問
- 12月7日～9日　各委員会
- 12月11日　閉会

FSC ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C006950
www.fsc.org
このチラシは「FSC®森林認証紙」を使用しています。

改革信州 長野県庁県議会棟内 (026)232-0087　会派 HP 改革信州 検索　E-mail info@kaikakushinshu.com